



▲ボランティアスタッフと楽しそうに歌う子どもたち

笑顔のヒミツは本の中？

～子ども読書週間記念おはなし会～

4/26
河浦

4月26日、河浦図書館で「子ども読書週間記念おはなし会」がありました。これは、同館が子ども読書週間にあわせて開催したもので、55人の親子などが参加しました。会では、本の読み聞かせボランティア「ななつの子の会」のメンバーによる絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなどがありました。参加した子どもたちは絵本をじっくり見つめ話に聞き入ったり、手袋で作った指人形の数え歌を歌いながら踊ったりして楽しいひとときを過ごしました。

丹精込めて育てた茶葉を収穫！

～“茶摘み”体験～

4/30
倉岳

倉岳小学校の4年生23人が4月30日、“茶摘み”を体験しました。当日は、荒平集落営農組合の皆さんからお茶の摘み方を教わった後、黄緑色に輝くお茶の葉っぱを一枚ずつついでに摘み取りました。参加した児童は、「つるつるとしてとても気持ちいい。やわらかくてフワフワしている」と初めて手にした茶葉の感触に感動していました。

その後、同営農組合の皆さんが用意した棚田米のおむすびなどを食べ、楽しいひとときを過ごしました。



▲お茶の摘み方を熱心に聞く児童たち

お気に入りの一品を求めて！

～天草西海岸春の陶器市～

5/1～6
天草

5月1日から6日まで、天草町と苓北町にある12の窯元などで「天草西海岸春の陶器市」が開催されました。

各会場には、上品な白磁や温かみのある焼き物、陶石の素材を生かした石材などが並び、来場者の目を引きつけていました。期間中は通常より2割から5割も安く手に入れることができるとあって、各窯元の特徴ある形や色に目を凝らしては、気に入った焼き物を手に取り、会話を弾ませながらも真剣なまなざしで品定めをしていました。



▲真剣なまなざしで陶磁器を選ぶ来場者

いっしょに踊りませんか？

～ハイヤ体験講座～

5/9
牛深

5月9日、うしぶか海彩館で「ハイヤ体験講座」が開催されました。これは、牛深地区振興会が祭り以外でもハイヤ踊りを体験してもらおうと始めたもので、この日は観光客や地元の小学生など20人が参加し、スタッフの指導のもと輪になって踊りを楽しみました。同講座は(11月まで)毎月第2・4土曜日の午前11時から開催しています。皆さんもぜひ踊ってみませんか。詳細は、牛深地区振興会事務局(牛深支所・総務振興課内)☎☎2111まで。



▲子どもたちもいっしょに楽しくハイヤ踊りを体験！

魚も笑顔も大漁、大漁！

～仕切網漁体験～

4/26
新和

4月26日、新和町の宮地浦湾で、今年で3回目となる「仕切網漁体験」が行われました。仕切り網漁は、満潮時に湾口を網で仕切り、干潮時に魚を捕る漁法で、県内外から約200人の家族連れなどが参加しました。当日は、肌寒い天気ながら、参加者は潮が引いた海へタモ網などを握りしめ獲物めがけて一斉に突入。チヌやイカ、セイゴなどを追いかけて捕っていました。捕った魚は地元の人たちに下ごしらえをしてもらい、お土産に持ち帰りました。



▲“あ、お母さん魚が入っているよ！”

ブルーツーリズムのシンボル完成

～「イルカのぼり」がお目見え～

4/25～8/31
五和

4月25日、「イルカのぼり」が空に泳ぎ始めました。これは、五和ツーリズムネットワークがイルカウォッチングをはじめ、五和地域の漁業体験(ブルーツーリズム)などのPRを行うために制作したもので、五和沖合いなどに生息するバンドウイルカに近いサイズで設計されています。

現在、二江のイルカウォッチング船発着所や総合交流ターミナル施設ユメール、天草空港などに約60頭が泳いでおり、8月31日まで楽しむことができます。



▲潮風の中を気持ち良さそうに泳ぐ「イルカのぼり」

ホテルが飛び交う河内川を目ざして

～栖本ホテルの会・河内川清掃活動～

4/26
栖本

4月26日、栖本ホテルの会(坂本和也代表・16人)が河内川(中河内～下河内間)の清掃活動を行いました。この日は、栖本地区振興会の環境部会員や地元有志など30人が参加。川の中を約3時間かけて歩き、川底や石のすき間に挟まった空き缶やビニールなどのゴミ拾いに汗を流しました。参加者は、「想像以上のゴミの量に驚いた。この結果を区民にも伝えて、ゴミのない川を目ざして、一丸となって取り組んでいきたい」と話していました。



▲石の間に挟まったゴミを取り除く参加者たち